

## 香川県子ども会育成連絡協議会主催のイベントに参加

～ 防災マップ作成の重要性を説明、「ぼうさい探検隊」実践を呼びかけ ～

日本損害保険協会四国支部（委員長：高橋 淳：東京海上日動火災保険株式会社・理事高松支店長）では、日本損害保険協会が掲げる第10次中期基本計画の重点課題である「自然災害への対応力強化」の取組みのひとつとして、香川県子ども会育成連絡協議会が10月14日（月）にサンメッセ香川（香川県高松市）で開催した「オータムフェスティバル」に参加しました。

本イベントは香川県子ども会育成連絡協議会が会員拡充を目的として初めて開催する大規模なフェスティバルでした。当支部のブースでは来場者の防災意識向上を目的に、高松市内の小学生グループ作成の防災マップ等を展示し、立ち寄っていただいた多くの来場者に防災マップ作成の重要性を説明したうえで、子ども会や小学校での「ぼうさい探検隊」の実践を呼びかけました。子どもの来場者からは「夏休みの自由研究に仲の良い友達と防災マップを作りたい」、大人の来場者からは「防災マップ作りを通じて地域の危険箇所等が把握できるのはとても良いこと」などの感想が寄せられました。

この他、香川大学の学生と一緒に「讃岐ちょうちん」を作成するブース、地元スポーツ団体のファイブアローズの選手と一緒にバスケットが楽しめるブース等、体験型ブースが多くあり、当日は多くの親子が参加されました。

当支部では、引続き関係団体と連携しつつ、災害に強い社会の実現を目指して、防災意識向上に係る取り組みを推進して参ります。



高松市内の小学生グループが作成した防災マップを展示



防災マップの内容を確認する来場者